

名頃の駐車場を9時半（10時半？）出発

ミヤマクマザサ及びコメツツジ群落

三嶺

1893.6

三嶺ヒコツテ

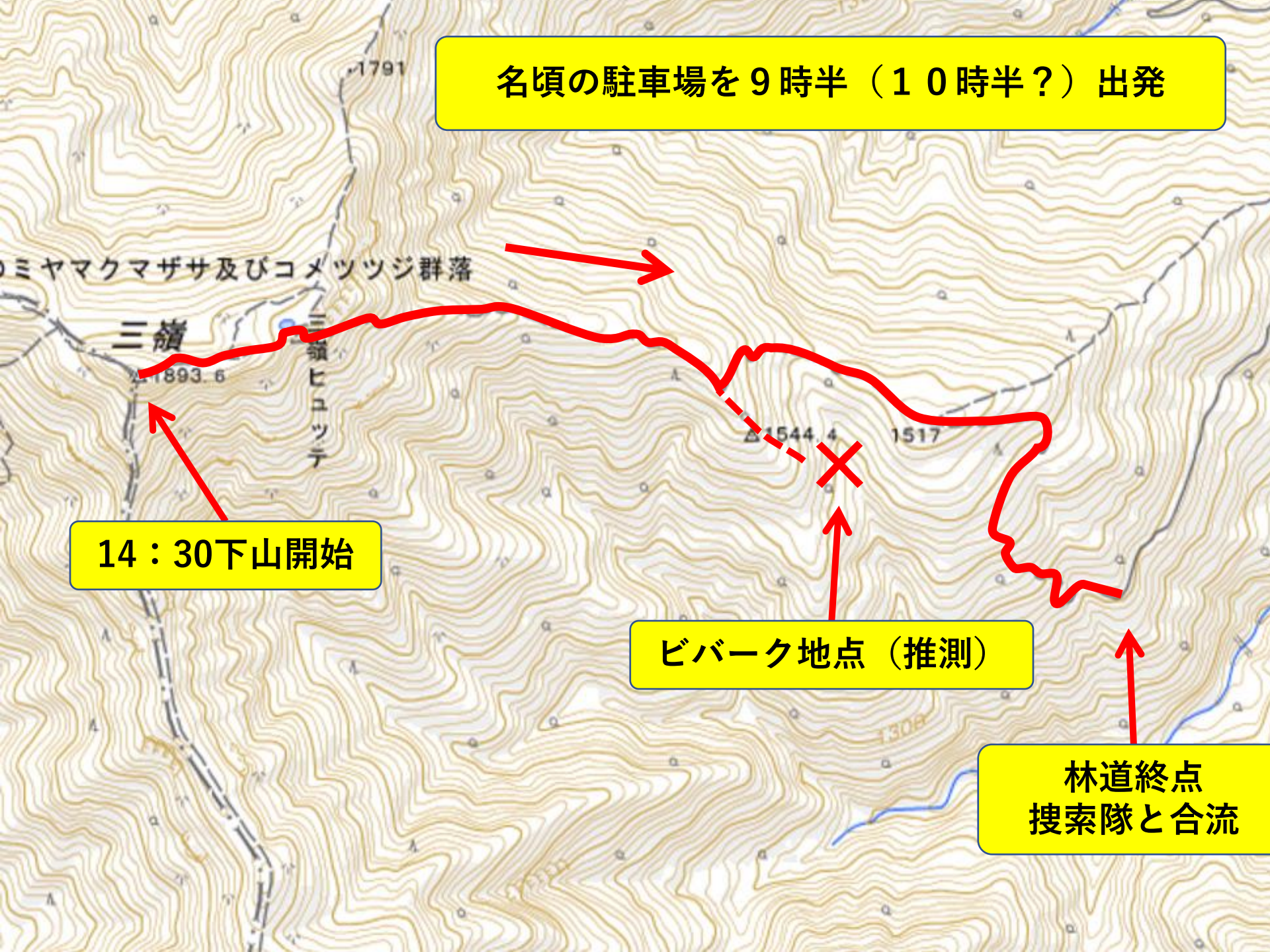
△1544.4

1517

14:30下山開始

ビバーク地点（推測）

林道終点
捜索隊と合流



遭難者は香川県の会社の同僚11人（うち5～12歳の子どもが4人）と、別に入山した香川県の夫婦がルートを外している中で遭遇し、合流したものであった。グループの行動は、14時半頃に三嶺山頂から下山を開始。15時30分頃に道を外して迷った。17時、消防に下山できないと携帯電話から連絡をした。その後、沢でビバーク。

遭難者からは、「曲がる場所をまっすぐ行ってしまい沢に入ってしまった」、「暗くなったので無理をせずビバークする判断をした」、「沢でたき火をして暖をとった」、「GPSを持参しており、およその位置を把握していて不安はなかった」、「すぐ下に林道があることは分かっていた」などの発言があった。（HP参照）

子供が含まれたパーティー。安全の上にも安全な行動をとって欲しい。今回の事例は、正しい判断と行動が最小限の遭難で収まった。「無理をせず、たき火をして暖を取り、GPSで現在位置の確認をして不安はなかった。」という。

しかしながら、9時半（10時半？）登山開始。子供を含んだパーティーには、動き出しが遅い。また、幼児という言葉もあるので、山頂からの下山時間が遅いので、全体の下山時間を考えたタイムスケジュールの管理が重要だと思う。